県指定 文脇遺跡14号土壙出土一括遺物

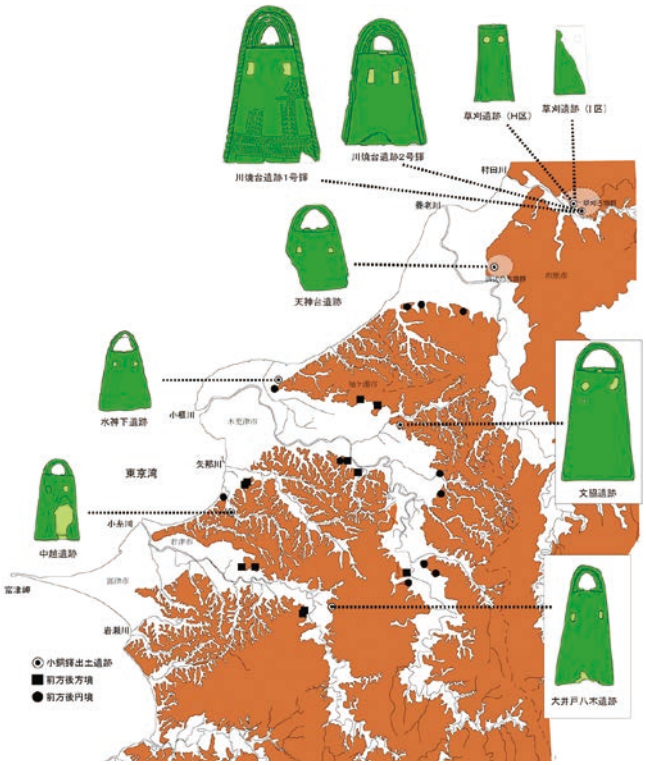
ふみわきいせきごうどこうしゅつどいっかついぶつ

■ 所在地：下新田1133
（市郷土博物館）

■ 管理者：袖ケ浦市教育委員会

小銅鐸

小銅鐸が見つかった様子



小銅鐸出土状況図

文脇遺跡は、平岡公民館の周辺に残された旧石器時代から中世にわたる遺跡です。

昭和63年（1988）の道路改良事業による発掘調査の際に、弥生時代終末期の埋葬施設（土壙）から小銅鐸や水晶・琥珀・ガラス製の装飾品などが出土しました。小銅鐸は高さ10cm前後の小型のものですが、全国でも約60例しか出土していない上、装飾品とともに見つかった貴重な資料です。